

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 5月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600110
法人名	有限会社やわら
事業所名	グループホームかな
所在地	鹿児島県曾於市末吉町南之郷77-1 (電話) 0986-76-3723
自己評価作成日	平成26年2月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年3月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

楽しみの一つ食事のメニューに力を入れている。季節の物、ちまき作りや餅つき等を職員と一緒にいき、季節感を味わっていただいている。又広い中庭にて利用者様と散歩などできる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームの周辺には広々とした田園が広がり、敷地も広く通路も整備されて散策や日光浴に適した環境である。天候の良い日には庭で、利用者と職員がお茶と会話を楽しむことができる。利用者が一日の多くの時間を過ごす明るく広いリビングは、温度や湿度に十分な配慮が感じられ、居室やトイレなども含めて清潔感が漂う雰囲気となっている。

○協力医療機関や訪問看護事業所とは24時間体制で連携が緊密に図られ、ご家族とも十分に話し合いながら利用者の健康管理と安全の確保に重点を置いて、日常のケアの充実や重度化した場合の体制の整備に、代表者をはじめ管理者と職員が一体となって取り組んでおり、利用者や家族からの信頼は極めて厚いものがある。

○管理者と職員はホームの理念に沿って、利用者が住み慣れた地域の中で、家族や知人と関わり合いながら、その人らしく暮らせるように思いに寄り添ったきめ細かな支援に取り組んでいる。研修の充実も図りながら、利用者の誇りやプライバシーにも十分に配慮して、食事や入浴・排泄を始めとした日々の暮らしの支援が利用者本位のものになるように可能な限り努力を重ね、利用者や家族の安心につなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念のひとつである、家族や友人地域の皆様と気軽に交流できる環境を作り、すきな時にすきな事が出来る日常生活して頂いています。	利用者が住み慣れた地域で、家族や友人と関わりながら生活できるように支援することを目指して、先に開設の同一法人のホームと同じ理念を掲げている。理念は社訓や職員心得とともに、研修や職員会議で意義を振り返り、理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議での情報交換や、利用者さまとの散歩などしご近所との交流を行なっている。	ホーム周辺の道路清掃や地域の夏祭りへの参加とともに、日常的に散歩や買い物に出かけ地域の人々と挨拶や会話を交わしている。また、近隣の方々から花や野菜・植木なども頂いている。ホームでの夏祭りや敬老会の案内、ボランティアの受入れや学校との交流なども計画しており、今後交流の機会の広がりが期待できる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じて、認知症の理解や支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今回2回目の外部評価であり、運営推進会議にて評価取組について、話しをし次回報告予定。	会議は2か月に1回定期的に行われ、家族代表や地域住民、行政や消防署の職員、民生委員等が参加して、積極的に情報や意見の交換を行っている。また、外部評価の報告や災害に備えた車いすでの避難訓練の通路の改善検討などに関する話し合いも行われ、業務やサービスの質向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>困難事例や、運営に必要な相談を電話や窓口に出向くなどして連携をはかっている。</p>	<p>市担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、市担当窓口や包括支援センターなどへ諸手続き等の際に訪問や電話で運営や利用者の状況について確認や相談を行い、適切に助言・対応して頂くなどの連携を図りサービス向上に取り組んでいる。また、市が主催する連絡協議会や研修等にも参加して情報や意見の交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について職員は常に意識しており、日中は施錠を行わない。夜間だけは、外門の施錠を19時行っている。</p>	<p>居室や玄関等の施錠は原則として行わないケアに取り組んでおり、利用者が外出しそうな場合には職員が付き添うようにしている。近所の方々とも見守りや声かけをしてもらえるような関係も築いている。また、言葉による拘束の排除も含めて身体拘束に関する研修やマニュアルの整備を通じて理解を深め、安全確保やその人らしい暮らしを支援する日々のケアへの反映に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修で学ぶ機会を持っている。また外部研修にも積極的に参加をし学ぶ機会を設けたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がないが、今後内部研修や外部研修に参加し話合いの場を設けていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前の面談にて特に料金については詳しく説明している。家族の意向や不安な事などできるだけ多くの意見を聞き不安解消に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見は常にコミュニケーションの中から引き出し運営に反映しているが、家族の意見を聞く機会が少ない為今後家族会などの場を作り意見などを聞く。	家族の意見や要望等は運営推進会議での意見交換や来訪時の対話等を通じて把握に努めている。また、利用者の思いや意見は日常の会話や所作の見守りなどで把握・対応するように取り組んでいる。職員は生活記録や支援経過表で共有を図り、必要な場合は職員会議で対応を話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている。家族からは運営推進会議で家族会開催の提案があり検討中である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案を出しやすいよう管理者は普段からコミュニケーションをはかっている。意見や提案を管理者は代表へ伝えるよう努めている。	管理者は日々の申し送りや勉強会・毎月の職員会議およびカンファレンスで意見や提案を聞き取るとともに、日常的に話しやすい雰囲気づくりに努めている。得られた意見や提案は、業務改善や利用者へのサービスに具体的に反映できるように取り組み、家族等へも必要な報告を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員の1年間の実績を見て給与等に反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が仕事に意欲が持てるようにコミュニケーションを図りながら、個々にあった研修の参加の支援等をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の会に参加し、同業者同士の交流をし、今後地域の同業者に協力をいただきながら、意見交流を行いサービスの質の向上に努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に特別な理由が無い限り面会に行き要望等に耳を傾けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の相談の際、不安や要望等に耳を傾け、サービス開始に当たり少しでも不安を取り除けるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族、本人へ関係しておられた方々より情報収集を行い、支援方法に、努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>馴染みの関係を築き、良き理解になれるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出の際の支援や面会のコミュニケーションに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	命日のお墓参りや、行きつけの商店での買い物、自宅への帰宅支援等を行っている。	馴染みの関係の継続にはフェイスシートや生活記録を活用して把握に努め、利用者の家族や知人などの来訪時には、ゆったりと過ごせるように支援するとともに、電話や手紙の取り次ぎも行っている。また、家族とも相談しながら、本人が希望する近隣のドライブや一時帰宅・墓参り・買い物などを可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓やソファー等の配置に特に注意をおこない、利用者同士がトラブル等起きぬよう、支え合える関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も遠慮なく相談して頂くよう、常々声掛けを行なうよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お墓参りや買い物、本人の意思を実現できるように努めている。	利用開始時の本人や家族からの聞き取り情報や、日々の暮らしの中で利用者の思いや希望をくみ取るように努めている。朝夕の申し送りや職員会議・カンファレンスで情報の共有を図り、必要に応じて家族とも相談しながら、その人らしい暮らしを送るための取り組みを検討し、可能な限り本人の希望に添うように支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や他サービス利用者中の関係者、馴染みの方々より生活歴等を把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックは勿論の事、言動等に注意するように努めている。普段の状態把握に努める努力をすることにより、異変に気づきやすくしている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員カンファレンスは月1回行っている。状態悪化時等は、随時行っている。本人、家族の意向を聞きながら、介護計画を作成している。	介護計画は本人や家族からの意向や希望、介護職員や医師・訪問看護師を含む関係者からの情報を基にきめ細かなわかりやすいものを作成している。ケアの経過はケア実施表や生活記録などに具体的に記述し、職員はすべての利用者の計画を十分に意識して日々のケアに取り組み、計画の見直しや修正を適切に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の状態が一目でわかるような個別記録を行っており、特に重要な情報等を申し送る欄を設けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況変化等に対応できるように相談しやすい環境作りに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>できる限りの地域資源把握に努め日々本人らしい暮らしができるように努める。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居相談の際に確認を行う等し、本人の病状に御応じた医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>利用前の受診経過を十分に把握し、本人・家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。医師や訪問看護事業所と診療情報提供書やケア実施表等で情報交換に努め、通院や往診の支援については家族とも十分に話し合い実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師の定期訪問に加え、状態変化等に随時相談をし、速やかに受診等ができるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の場合、環境の変化が起きやすい為、面会にて声掛けを行なう等の支援をしている。ホームにてできる治療の場合は訪問看護師と連携を図りながら安心して治療できるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時、事前説明を行うが、ホーム看取りを希望の際は再びご説明を行い家族と職員、医療関係者と共に支援していくように努める。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、利用開始時に対応指針により説明して同意を得ている。また、様々な変化の都度十分に話し合い、内容は職員全員で共有して意向を最大限尊重した対応をとれるような体制を築いている。医療機関とは24時間体制で連携が図られており、家族の不安につながらないように配慮がなされている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生への対応をその都度行っているが、今後外部からの応援をいただきながら実践力を身につけたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日中の訓練は行っている。夜間訓練も行い、運営推進会議にても協力いただけるようお願いをし近隣への協力もお願いし、実施。</p>	<p>消防署との連携により定期的に夜間を含めた避難訓練を実施している。また、近隣住民や市の担当者からも訓練参加の協力が得られている。関連するマニュアルの整備や研修も行われ、災害時に備えた各種の設備の設置や点検並びに食料や飲料水の準備も十分なされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄の失敗、食事の食べこぼし等の際の声掛けに注意を払っている。	マニュアルの整備とともに、接遇や個人情報保護等の関連する研修の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。また、個人記録の取り扱いや保管、日々のケアや居室の保護などにも誇りやプライバシーの確保に徹底した配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境や、表情、声掛けを行いながら希望を表して頂いたり、自己決定できるような方法を見つけたり努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に応じて暮らしていただけるよう努力しているが、臥床傾向にあられる方に対してはリズムを整える為にレク参加を促す支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服選びを手伝う、声掛けを行なう等支援をおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、配膳、後片づけ等職員と一緒にしている。	野菜の下ごしらえや食卓の準備・後片付けなど、できることは手伝ってもらい会話をしながら楽しく食事できるように工夫している。また、利用者の好みもメニューに取り入れたり、差し入れの野菜も活用しながら季節感のある食事を提供できるように取り組んでいる。季節の行事食や敬老会・クリスマス会等の特別食、弁当持参の花見・庭でのお茶会、餅つきやちまきづくり等でも利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>特に水分摂取に注意をおこなっている。甘味をつけたり工夫をおこなっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>お茶にてうがいをおこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>オムツはずしに常に努めている。リハビリパンツから布パンツへ変更しトイレ誘導をこまめに行なう努力を行っている。</p>	<p>時間単位の排泄チェック表の活用や利用者の不安や羞恥心にも十分配慮したトイレへの声かけ誘導で、個人の習慣や身体機能にも配慮しながら自立に向けた援助や用品の選択に取り組んでいる。これらの結果はケアプランにも反映して、より個々に合った対応となるように努力を重ねている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便の状態を確認し、水分を増やしたり、時には下剤の検討をおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在1日おきの入浴であるが、希望や皮膚状態により毎日入浴の支援を行なっている。	バイタルや皮膚の状況の確認とともに、安全に十分配慮して基本的には2日に1回の入浴を支援し、希望があれば365日毎日でも対応できる体制をとっている。入浴を拒否されるような場合には、スムーズに入浴して頂けるように、声かけや話し方を工夫して利用者本位の支援になるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の調整や、空調、明かり等環境の設備や入眠前の声掛けに工夫をおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は、全て職員が行っている。職員は効能、副作用を理解し、変化時は速やかに医療機関へ相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗洗いや、洗濯畳、本人の力量にあわせ張り合いのある日々を過ごしていただいている。買い物やドライブの気分転換は随時おこなっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望にできるだけそえるように、その日のスタッフが協力仕合い遠方の外出の支援を行っている。	利用者の健康状態や天候を見ながら、個々の希望に添って散歩や外気浴・庭でのお茶会のほか、近隣の商店での買い物やドライブ・墓参りなどに出かけている。また、家族とも連絡をとりながら年に数回は初詣や季節の花見・地域のイベントなど、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御買い物支援を行なっている方に対し買い物が一人でもできる喜びを継続できるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により電話の支援を随時おこなっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>特に排泄の臭いに注意をしている。囲炉裏を設置したり季節の花を飾る等居心地良く過ごせるように努めている。</p>	<p>広い庭は散策や日光浴・お茶会などにも適した環境になっている。ホームは木造の平屋造りで、リビングは広く明るく、室温や湿度にも十分な配慮が感じられる。季節感のある花飾りや手づくりの作品、ぬいぐるみなども配置された清潔でゆったりと居心地良く過ごせる空間となっている。また、畳のスペースも含めてテーブルや椅子・ソファ・こたつ・囲炉裏などもあり、利用者は好きな場所で気持ちよく過ごすことができるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにて少人数座れるソファを設置する等し気の合う利用者同士の空間作りを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人使用されていた寝具を持参して頂き、居心地の良い空間を作っている。</p>	<p>利用者がそれまでの暮らしの中で使い慣れた家具や身の回りの物を自由に持ち込んで頂き、落ち着いて居心地良く過ごせる居室となるように、家族とも十分に話し合っって柔軟に支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>便所、お風呂の表示を行い、迷われる事がないように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念のひとつである、家族や友人地域の皆様と気軽に交流できる環境を作り、すきな時にすきな事が出来る日常生活して頂いています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議での情報交換や、利用者さまとの散歩などしご近所との交流を行なっている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じて、認知症の理解や支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今回2回目の外部評価であり、運営推進会議にて評価取組について、話しをし次回報告予定。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	困難事例や、運営に必要な相談を電話や窓口に出向くなどして連携をはかっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について職員は常に意識しており、日中は施錠を行わない。夜間だけは、外門の施錠を19時行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で学ぶ機会を持っている。また外部研修にも積極的に参加をし学ぶ機会を設けたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がないが、今後内部研修や外部研修に参加し話し合いの場を設けていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前の面談にて特に料金については詳しく説明している。家族の意向や不安な事などできるだけ多くの意見を聞き不安解消に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見は常にコミュニケーションの中から引き出し運営に反映しているが、家族の意見を聞く機会が少ない為今後家族会などの場を作り意見などを聞く。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案を出しやすいよう管理者は普段からコミュニケーションをはかっている。意見や提案を管理者は代表へ伝えるよう努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の1年間の実績を見て給与等に反映するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が仕事に意欲が持てるようにコミュニケーションを図りながら、個々にあった研修の参加の支援等をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の会に参加し、同業者同士の交流をし、今後地域の同業者に協力をいただきながら、意見交流を行いサービスの質の向上に努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に特別な理由が無い限り面会に行き要望等に耳を傾けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の相談の際、不安や要望等に耳を傾け、サービス開始に当たり少しでも不安が取り除けるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族、本人へ関係しておられた方々より情報収集を行い、支援方法に、努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>馴染みの関係を築き、良き理解になれるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>外出の際の支援や面会のコミュニケーションに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>命日のお墓参りや、行きつけの商店での買い物、自宅への帰宅支援等を行っている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食卓やソファ等配置に特に注意をおこない、利用者同士がトラブル等起きぬよう、支え合える関係作りに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も遠慮なく相談して頂くよう、常々声掛けを行なうよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お墓参りや買い物、本人の意思を実現できるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や他サービス利用者中の関係者、馴染みの方々より生活歴等を把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックは勿論の事、言動等に注意するように努めている。普段の状態把握に努める努力をすることにより、異変に気づきやすくしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員カンファレンスは月1回行っている。状態悪化時等は、随時行っている。本人、家族の意向を聞きながら、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の状態が一目でわかるような個別記録を行っており、特に重要な情報等を申し送る欄を設けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況変化等に対応できるように相談しやすい環境作りに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>できる限りの地域資源把握に努め日々本人らしい暮らしができるように努める。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>入居相談の際に確認を行う等し、本人の病状に御応じた医療が受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師の定期訪問に加え、状態変化等に随時相談をし、速やかに受診等ができるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の場合、環境の変化が起きやすい為、面会にて声掛けを行なう等の支援をしている。ホームにてできる治療の場合は訪問看護師と連携を図りながら安心して治療できるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時、事前説明を行うが、ホーム看取りを希望の際は再びご説明を行い家族と職員、医療関係者と共に支援していくように努める。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生への対応をその都度行っているが、今後外部からの応援をいただきながら実践力を身につけたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中の訓練は行っている。夜間訓練も行い、運営推進会議にても協力いただけるようお願いをし近隣への協力もお願いし実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄の失敗、食事の食べこぼし等の際の声掛けに注意を払っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境や、表情、声掛けを行いながら希望を表して頂いたり、自己決定できるような方法を見つけたり努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に応じて暮らしていただけるよう努力しているが、臥床傾向にあられる方に対してはリズムを整える為にレク参加を促す支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服選びを手伝う、声掛けを行なう等支援をおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、配膳、後片づけ等職員と一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>特に水分摂取に注意をおこなっている。甘味をつけたり工夫をおこなっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>お茶にてうがいをおこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>オムツはずしに常に努めている。リハビリパンツから布パンツへ変更しトイレ誘導をこまめに行なう努力を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便の状態を確認し、水分を増やしたり、時には下剤の検討をおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在1日おきの入浴であるが、希望や皮膚状態により毎日入浴の支援を行なっている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の調整や、空調、明かり等環境の設備や入眠前の声掛けに工夫をおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は、全て職員が行っている。職員は効能、副作用を理解し、変化時は速やかに医療機関へ相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗洗いや、洗濯畳、本人の力量にあわせ張り合いのある日々を過ごしていただいている。買い物やドライブの気分転換は随時おこなっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望にできるだけそえるように、その日のスタッフが協力仕合い遠方の外出の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	御買い物支援を行なっている方に対し買い物が一人でもできる喜びを継続できるよう支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人の希望により電話の支援を随時おこなっている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	特に排泄の臭いに注意をしている。囲炉裏を設置したり季節の花を飾る等居心地良く過ごせるように努めている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ホールにて少人数座れるソファを設置する等し気の合う利用者同士の空間作りを工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人使用されていた寝具を持参して頂き、居心地の良い空間を作っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>便所、お風呂の表示を行い、迷われる事がないように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない